

お客さま各位

2018年10月15日

株式会社 GCI アセット・マネジメント

10 月月央の GCI エンダウメントファンド(成長型／安定型)の運用状況について

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当月は 10 日に米国株式市場が軟調となり、その後東京市場も株価が大幅に下落いたしました。これにより GCI エンダウメントファンド(成長型／安定型)(以下、当ファンド)の基準価額も下落致しました。

当ファンドは従来通り、一時的な市場の変動には一喜一憂せず、定められた基本資産配分(ターゲット・ポートフォリオ)に従った運用を行っておりますが、基準価額の変動要因と運用状況について下記の通り、ご報告致します。

1. 基準価額の下落要因について

前日基準価額(終値)との騰落率	10月10日(水)	10月11日(木)	10月12日(金)	3日間の騰落率
GCIエンダウメントファンド(成長型)	-0.12%	-1.36%	-0.99%	-2.47%
GCIエンダウメントファンド(安定型)	-0.08%	-0.81%	-0.59%	-1.48%
GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスA	-0.27%	-0.88%	-0.91%	-2.06%
ニューヨーク・ダウ平均株価(現地時間)	-3.15%	-2.13%	+1.15%	-4.13%
日経平均株価	+0.16%	-3.89%	+0.46%	-3.27%

(注)GCI システムティック・マクロファンド Vol10 クラス A の騰落率は、GCI エンダウメントファンド(成長型／安定型)の基準価額への計上日ベースでの対前日基準価額騰落率。ニューヨーク・ダウ平均株価は現地日付終値ベース。

当月月央における基準価額の下落要因は、主として日米株式を中心とする伝統的資産の価格が下落し、加えてオルタナティブ戦略として組入れている GCI システムティック・マクロファンド Vol10 クラス A (以下、GSMA)の基準価額も下落したことによるものです。

当ファンドは株式・債券といった伝統的資産からリターンを上げるとともに、GSMA で伝統的資産と相関の低いリターンを獲得すべく中長期の市場トレンドを主な収益源とします。しかしながら、今回の米国長期金利上昇及び米中貿易摩擦を背景にした市場変動は、伝統的資産及びオルタナティブ戦略双方にネガティブな影響を与えました。

GSMA は本年 2 月月初のリバランスにおいて、株式持ち高の削減(1 月対比の総計持ち高で約 3 割の削減)を行い、現在では米国株及び欧州債の若干の買い持ち、米国債及び資源国通貨の売り持ちがポートフォリオの主要なポジションとなっております。こうした状況下、10 月 10 日及び 11 日に起きた米国株式の急落の影響を受け基準価額も下落しました。

## 2. 当ファンドの運用状況につきまして

当ファンドは、米国名門大学基金が実践してきた運用手法を模範とする長期かつグローバル分散投資を行っております。基本資産配分としては、成長型・安定型ともに 36.5%をオルタナティブ戦略(GSMA)に配分し、その他を伝統的資産である株式・債券及びリートに分散投資して安定的な収益を獲得することを目的としております。

しかしながら、10月10日から10月12日まで三日間の基準価額の下落幅は、成長型でマイナス2.47%、安定型でマイナス1.48%となりました。この間、ニューヨーク・ダウ平均株価はマイナス4.13%、日経平均株価はマイナス3.27%の下落となり、日米株価下落の影響を大きく受けました。10月12日までの年初来リターンは、成長型でマイナス1.69%、安定型で1.07%となっております。

なお、GSMAは、2017年はプラス43.9%(ボラティリティ10%換算では約17.6%、概算値。)のリターンを上げるなど、当ファンドのリターンに継続してプラスに寄与しています。また、年初から10月12日までのGSMAの騰落率は約マイナス0.17%のリターンとなっておりますが、年初来9月末までのGSMAの当ファンド基準価額への寄与額概算値は成長型で約122円、安定型で約153円のプラスとなっております。

## 3. 今後の見通し

当ファンドは、株式・債券・オルタナティブ投資をコア3資産とする基本資産配分を維持しながら、シンプルかつ効率的に一定のリスクをとり続けるというブレのない運用姿勢が大きな特徴です。引き続き、市場動向に振り回されたり一喜一憂したりすることなく、オルタナティブ戦略を活用した分散ポートフォリオを堅持し、円資産のリスク・リターンに配慮した長期運用を継続してまいります。

オルタナティブ戦略部分のGSMAについても、引き続き株式持ち高のコントロールについて注視していくとともに、今後とも厳戒態勢で市場を注視し、機動的かつ適切なリスク管理が行える態勢で運用してまいります。

以上

文責：GCI エンダウメントファンド・運用チーム  
代表取締役 CEO 山内 英貴